

行政経営プランの進行管理について

1 平成 29 年度 of 取組み成果について (平成 30 年 2 月末時点)

(1) 総括表

◎平成 29 年度財源不足額：5 億 3,900 万円

実施項目	財源確保の状況		
	計画目標 (ア)	実績 (イ)	達成率 (イ)÷(ア)
A 歳入確保の取組み効果額	9,488 万円	2,881 万円	30.4%
B 歳出削減の取組み効果額	2,645 万円	715 万円	27.0%
C 効果額合計 (A+B)	1億 2,133 万円	3,595 万円	29.6%

※平成 30 年 2 月末時点の実績。出納閉鎖後でないとは効果額を算出できない取組みを除く。

【参考】

実施項目	財源確保の状況		
	計画目標 (ア)	実績 (イ)	達成率 (イ)÷(ア)
出納閉鎖後でないとは効果額を算出できない取組み	8,167 万円	—	—

(2) 改善に向けた取組み

①事務事業の見直しの推進と職員の意識改革

平成 29 年度の実績では、目標額 (1,900 万円) に対し、効果額は 10%程度 (約 190 万円) の達成率にとどまっており、取組みが遅れています。事業の振り返りと改善を効果的に実施していくことができるよう、事務事業評価シートを改定するなど、職員の意識改革を促す取組みを検討します。

②公有財産の処分と活用

行政経営プラン策定以降、利用目的の定まっていない未利用町有地の処分により財源確保に努めています。平成 29 年度は一般競争入札による売払い手続を 3 件実施しましたが、うち 1 件は応札者なしのため中止となっています。引き続き売却対象予定の町有地について、売却に向けた整理を行い、平成 29 年度までに売却に至らなかった箇所を含め、処分を進めていきます。

2 平成 30 年度以降の財源確保に向けての取組み

(1) 平成 30 年度の予算編成における財源確保について

① 経営プランで見込んでいた財源不足額	5 億 5,200 万円
② 予算編成時点での財源不足見込額	5 億 7,600 万円
③ 行政経営プランによる財源確保額	+ 3 億 6,900 万円
④ 予算編成上の各項目の精査による増減	- 8,300 万円
⑤ 予算編成上の財源不足解消（財政調整基金の取崩し）	+ 2 億 9,000 万円
財源確保額計	5 億 7,600 万円

(2) 平成 30 年度の主な取組みについて（新規事業等）

①クラウドファンディングの実施（新規） 【見込額：100 万円】

新たな財源確保方策として、試行的にクラウドファンディングによる資金調達「(仮称)いそべえお着替えプロジェクト」を実施します。町観光キャラクターである「いそべえ」の老朽化した着ぐるみの更新と、それに合わせて新たな付加価値として着せ替え用衣装の作成を実施するものです。また、その結果を検証し、次なる取組みへとつなげていきます。

②公共施設等第 1 期個別施設計画に基づく取組みの実施（新規） 【見込額：400 万円】

平成 27 年度に公共施設再編基本方針、平成 28 年度に公共施設等総合管理計画を定め、平成 29 年度末には各施設の具体的な将来の対策（方向性）を定める「公共施設等第 1 期個別施設計画」を策定します。平成 30 年度以降は、個別施設計画に基づき、施設の再編に向けた取組みを開始していきます。

③ごみ処理広域化に伴う廃棄物処理事業の見直し（新規） 【見込額：1 億 1,200 万円】

平塚市・大磯町・二宮町によるごみ処理広域化の取組みとして、平成 30 年 4 月から大磯町リサイクルセンターが稼働します。特別目的会社（SPC）による運営・管理となることにより、運営費が軽減されます。

④国民健康保険税率の見直しの実施（変更） 【見込額：3 億円 → 5,000 万円】

税率改正について国民健康保険運営協議会に諮問し審議が重ねられた結果、平成 30 年度保険税率の見直しが必要であると判断され、全体で約 2.93%の改正が行われることとなりました。平成 29 年度の改正（3.1%）に続き 2 年連続の改正になりますが、一般会計からの法定外繰出金は約 4,200 万円、国民健康保険財政調整基金から約 8,700 万円の取崩しを行うことになるなど、法定外繰出金の解消にまでは至っていません。